

職場の席固定せず仕事効率的に

タッチ、IT環境提案

パソコン修理やスクール事業のタッチ（本社名古屋市中区白鳥町、田島秀和社長、電話052・806・8899）は、中小企業向けに、職場の席を固定せず、タブレット端末などを活用して、いつでもどこでも仕事ができる環境づくりを提案している。固定型のパソコンや電話機を減らして経費を削減するほか、在宅勤務をしやすい子育てなどによる女性の退職を防ぐ、停電に強く、災害時の対策にもなる。実績やセミナーを充実させるため、2月上旬に本社を白鳥市から移転、拡張した。

（山田悠）

経費削減、災害時対策も



田島秀和社長

同社の設立は1996年。パソコン修理では同業他社からの依頼も多く、「においと音で故障原因や場所が分かる」（田島社長）と、高い技術力を持つ。現在、マイクロソフトが提供

するソフト「オフィス365」の中小企業向け相談会の名古屋会場を担当する。そのほか、愛知県職業能力開発協会や企業、商工会などでパソコン研修の講師として多くの実績を持つ。ITを活用した働き方の提案では、「フリーアドレス」と「テレワーク」をキーワードに掲げる。具体的には、社員がタブレット端末などを利用

して、社内外のどの場所でも「自分の仕事環境」をつくれるようにする。従来のように、社員一人一人にノートパソコンを支給する必要がなく、購入や保守の費用を削減できる。社員の増加に合わせて、机を増やす必要もない。タブレット端末は電池で動くため、停電の影響を受けない。

また、机の上の固定電話は、インターネットを利用する「クラウド型の電話」に切り替える。社外からの電話は、社内の誰かが手持ちのスマートフォンで受け取れるほか、外出している社員のスマホに内線として

回せる。資料は、クラウド上に置いて紙を削減する。さらに、在宅勤務もしやすくなる。キャリアを積んだ女性社員が卒業、子育てなどで退職することの予防につながる。

田島社長は、「当社が提案するスタイルは、災害が起きても、業務を内滑に継続できる。こうしたスタイルは、関東や関西に比べて中部では普及していない。今後、提案を強化したい」と話す。

同社の2015年6月期の売上高は2億円の計画。従業員は15人。本社移転を記念し、18日に企業向け、14、15の両日は、子ども向けにイベントを開く。



セミナーでは、ITに関するノウハウを伝授する

して、社内外のどの場所でも「自分の仕事環境」をつくれるようにする。従来のように、社員一人一人にノートパソコンを支給する必要がなく、購入や保守の費用を